



2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月15日

上場会社名 株式会社パピレス
コード番号 3641 URL <https://papy.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井康子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務・経理部長 (氏名) 須永喜和 TEL 03-6272-9533

定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月27日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|--------|------|------|------|------|------|---------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期 | 17,175 | 7.8 | 255 | 40.1 | 544 | 1.2 | 217 | 66.9 |
| 2023年3月期 | 18,626 | 10.0 | 425 | 55.5 | 537 | 55.5 | 657 | 12.4 |

(注) 包括利益 2024年3月期 253百万円 (63.8%) 2023年3月期 698百万円 (11.3%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|----------|------------|-----------------------|----------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2024年3月期 | 21.96 | 21.91 | 2.2 | 3.9 | 1.5 |
| 2023年3月期 | 71.75 | 71.49 | 7.3 | 3.9 | 2.3 |

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年3月期 | 14,532 | 10,373 | 70.7 | 1,039.56 |
| 2023年3月期 | 13,395 | 9,431 | 69.9 | 1,018.11 |

(参考) 自己資本 2024年3月期 10,269百万円 2023年3月期 9,358百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2024年3月期 | 691 | 16 | 582 | 10,242 |
| 2023年3月期 | 613 | 101 | 151 | 8,742 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| 2023年3月期 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2023年3月期 | | 0.00 | | 10.00 | 10.00 | 93 | 13.9 | 1.0 |
| 2024年3月期 | | 0.00 | | 10.00 | 10.00 | 99 | 45.5 | 1.0 |
| 2025年3月期(予想) | | 0.00 | | 10.00 | 10.00 | | 29.1 | |

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|------|---------|------|------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 8,863 | 1.3 | 357 | 2,494.2 | 389 | 81.3 | 210 | 381.5 | 21.32 |
| 通期 | 18,065 | 5.2 | 598 | 134.5 | 654 | 20.2 | 339 | 55.8 | 34.36 |

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1 社 (社名) JadeComiX株式会社、除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2024年3月期 | 10,326,880 株 | 2023年3月期 | 10,326,880 株 |
| 期末自己株式数 | 2024年3月期 | 448,117 株 | 2023年3月期 | 1,134,917 株 |
| 期中平均株式数 | 2024年3月期 | 9,921,611 株 | 2023年3月期 | 9,169,374 株 |

(注)「期末自己株式数」には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式(2024年3月期 110,000株、2023年3月期 150,000株)が含まれています。また、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を、「期中平均株式数」の計算において控除する自己株式数(2024年3月期 124,973株、2023年3月期 165,014株)に含めています。

(参考)個別業績の概要

2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|--------|-----|------|------|------|------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期 | 16,762 | 7.8 | 637 | 4.9 | 998 | 28.3 | 601 | 24.3 |
| 2023年3月期 | 18,171 | 9.8 | 670 | 43.2 | 778 | 45.0 | 794 | 204.5 |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | 60.61 | 60.48 |
| 2023年3月期 | 86.67 | 86.37 |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年3月期 | 14,599 | 10,743 | 73.4 | 1,084.26 |
| 2023年3月期 | 13,219 | 9,510 | 71.7 | 1,031.04 |

(参考) 自己資本 2024年3月期 10,711百万円 2023年3月期 9,477百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 6 |
| 連結損益計算書 | 6 |
| 連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 8 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (セグメント情報等) | 11 |
| (1株当たり情報) | 12 |
| (重要な後発事象) | 12 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復がみられます。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、また、ウクライナ情勢の長期化を背景とした資源価格の上昇や円安基調の継続等によるインフレの影響も受けています。

電子書籍の市場規模は、「インプレス総合研究所『電子書籍ビジネス調査報告書2023』」によると、2022年度は6,026億円（うち電子コミック市場規模が5,199億円）と推計されていますが、参入企業も多く、厳しい競争が続いています。また、コンテンツ需要の増加により、出版社等のコンテンツホルダーからの仕入コストが上昇しています。

さらに、個人情報保護法の改正に伴うターゲティング広告の規制強化によって広告効率が低下し、ユーザーの消費行動への下押し圧力が依然として高まっていることによって、販促効果も弱まり、市場規模の成長が減速しています。

このような環境の中で、当社グループは、顧客第一主義の基本理念に基づき、サービスの向上施策及び他社との差別化を図るためのブランド戦略施策を実施しています。

サービス向上施策は、レンタル販売方式の拡充を進めています。

ブランド戦略施策は、中長期的な事業拡大を目的とした広告宣伝を、先行投資として積極的に行っています。

また、ユーザーへの還元を目的とした販売促進施策も積極的に実施しています。

さらに、将来市場が拡大すると予測される英語圏や中国語圏を中心とした海外事業への投資強化及び、今後市場に普及していく5G端末向けの次世代コンテンツの開発並びにオリジナルコンテンツの増産にも取り組んでいます。

2023年5月には、セガサミーホールディングス株式会社と、協力してWebtoonコンテンツ及び、サービスの開発とオリジナルコンテンツの制作を行うため、合弁会社「JadeComiX株式会社」（当社の連結子会社）を設立しました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高は17,175百万円（前年同期比7.8%減）、営業利益は255百万円（前年同期比40.1%減）、経常利益は544百万円（前年同期比1.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は217百万円（前年同期比66.9%減）となりました。

なお、経常利益については、円安によって保有外貨建資産に為替差益317百万円が発生したため、営業利益より獲得額が大きくなっています。

当社グループの事業は、電子書籍事業のみであり、重要な事業拠点も当社のみとなっているため、報告セグメントはありません。

以下、当連結会計年度における主な事業活動を報告します。

(集客施策)

割引やポイント還元などが適用されるクーポンの配布及び、人気作品がお得に読めるRenta! 限定レンタルキャンペーンなどの企画を実施した結果、「Renta!」の会員数は900万人を突破しました。

また、草薨剛さんと神木隆之介さん共演のTVCMの放送を実施し、ゴールデンウィーク中に、TVCMに合わせて、特別企画のレンタル&無料試し読み特集「Renta!のゲキ推し!」を実施しました。

さらに、東京ビッグサイトで開催されたAnimeJapan 2024にて、人気声優が出演するRenta!のミニ番組『マンガ、鬼ほど好きなんで』のスペシャルイベントを実施しました。

(サイト改良施策)

ユーザビリティの向上を目指したサイト改良を継続的に実施しています。

また、決済方法の多様化による利便性向上を図るため、新たな決済手段の導入も推進しています。

(オリジナルコンテンツ施策)

国際的に拡大が見込まれるフルカラー縦スクロールコミック市場において、オリジナル作品の創造を推進することと、グローバルダイレクトでコンテンツを展開可能な縦スクロールコミックを通じて、新たなIP創出や既存IPの活性化を実現していくことを目指すため、セガサミーホールディングス株式会社と共同で、フルカラー縦スクロールコミックレーベル「ZETooN」を立ち上げました。

また、「Rentaコミックス」のオリジナル漫画レーベル「COMICスピア」よりリリースする作品について、「ムーンライトノベルズ」と共同で、「オトナ女子コミカライズ原作大賞」・「異世界801コミカライズ原作大賞」コンテスト、「小説家になろう」と共同で、「コミカライズ原作大賞 第3回」コンテストを実施しています。

さらに、長年かけて開発してきたカラー縦スクロールのRenta!オリジナルコミック「タテコミ」について、大好評の作品が続々掲載中で、『聖女なのに国を追い出されたので、崩壊寸前の隣国へ来ました～力を解放したので国が平和になってきましたが元の国まで加護は届きませんよ～』が、連載わずか半年余りで販売数100万冊を突破しました。

(次世代コンテンツ開発施策)

5G端末向けの縦スクロール型のコミック「タテコミ」の拡充及びマンガにモーションと音声を付加し、スマートフォンでの視聴に最適のタテ型アニメーション形式の動画コンテンツ「アニコミ」の制作体制の強化を進めています。累計閲覧冊数130万冊を突破した大人気フルカラー縦スクロールコミック『魔寄せ宮女、孤高の祓魔師に拾われました』のアニコミ化が実現し、アニコミ版の先行上映の試写会イベントを開催しました。

また、自社オリジナルアニコミ『女体化した僕を騎士様達がねらっています』の第1期と第2期の全話TV放送も実施しています。

(海外展開施策)

海外向けの直営販売サイトの「英語版Renta!」、「中国語繁体字版Renta!」の売上拡大を目指して、集客、サイト改良、コンテンツの拡充を進めると同時に、自社オリジナルコンテンツの海外展開にも積極的に取り組んでいます。中国最大級のコミックサイト・アプリ「テンセント動漫」で、オリジナルフルカラータテコミ『魔寄せ宮女、孤高の祓魔師に拾われました』の中国語簡体字版の配信を開始しました。

また、海外取次会社AAG（アルド・エージェンシー・グローバル株式会社）を通して、英語、中国語及び韓国語のコンテンツ取次販売を行っています。直営以外の海外販売サイトにも展開し、販路拡大が進んでいます。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は13,723百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,346百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が1,687百万円増加したことによるものです。

固定資産は809百万円となり、前連結会計年度末に比べ209百万円減少しました。これは主に、貸倒引当金が75百万円増加、繰延税金資産が94百万円減少したことによるものです。

この結果、資産合計は14,532百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,136百万円増加しました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は4,158百万円となり、前連結会計年度末に比べ196百万円増加しました。これは主に、買掛金が109百万円減少、前受金が118百万円、未払法人税等が269百万円増加したことによるものです。

固定負債は0百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円減少しました。

この結果、負債合計は4,158百万円となり、前連結会計年度末に比べ194百万円増加しました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は10,373百万円となり、前連結会計年度末に比べ941百万円増加しました。これは主に、自己株式の減少1,059百万円（うち第三者割当による自己株式の処分が1,182百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益217百万円の獲得によるものです。

この結果、自己資本比率は70.7%（前連結会計年度末は69.9%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、自己株式の取得による支出等の要因により一部相殺されたものの、自己株式の処分による収入852百万円、税金等調整前当期純利益544百万円（前年同期比1.2%増）を獲得したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,499百万円増加し、当連結会計年度末には10,242百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は691百万円（前年同期は613百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益544百万円、売上債権の減少額119百万円、仕入債務の減少額110百万円、法人税等の還付額251百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は16百万円（前年同期は101百万円の獲得）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出1,706百万円、定期預金の払戻による収入1,666百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は582百万円（前年同期は151百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額93百万円、自己株式の取得による支出235百万円、自己株式の処分による収入852百万円、非支配株主からの払込みによる収入60百万円等によるものです。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、ウィズコロナにより社会経済活動が正常化していく一方、ウクライナ情勢を背景とした国際的な原材料価格の高騰や円安に伴う輸入価格の上昇を起点とした価格転嫁によるインフレ等が消費者の購買行動に影響を与える可能性があり、直近の市場の伸びは不透明な状況となっています。

このような環境の中で、当社グループは、中長期的な戦略に基づき、国内において、一般顧客層へのさらなるユーザー層の拡大を進めていくとともに、台湾等の中国語繁体字圏、アメリカをはじめとする英語圏に加え、中華人民共和国等の中国語簡体字圏市場及び韓国市場を視野に入れた海外向けサービスの強化を進めていきます。

また、次世代コンテンツや「タテコミ」の普及、オリジナルコンテンツの増産等の先行投資を積極的に行い、事業拡大を目指します。

主な施策として、以下の活動を予定しています。

- ・顧客層拡大のため、TVCM等のマス広告を含めた広告施策を継続的に実施します。
- ・販路拡大のため、海外市場の開拓を行い、海外向けサービスを強化します。
- ・競合他社との差別化のため、「Renta!」ブランドの確立、次世代コンテンツの開発、「タテコミ」の普及促進、オリジナルコンテンツの増産に注力します。

翌連結会計年度（2025年3月期）の連結業績見通しについては、売上高は18,065百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は598百万円（前年同期比134.5%増）、経常利益は654百万円（前年同期比20.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は339百万円（前年同期比55.8%増）を予想しています。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しています。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当連結会計年度 (2024年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,231 | 11,919 |
| 売掛金 | 1,729 | 1,614 |
| コンテンツ資産 | 38 | 28 |
| 仕掛コンテンツ資産 | 1 | 3 |
| その他 | 379 | 159 |
| 貸倒引当金 | △4 | △1 |
| 流動資産合計 | 12,376 | 13,723 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 29 | 26 |
| リース資産（純額） | 3 | 1 |
| その他（純額） | 5 | 6 |
| 有形固定資産合計 | 37 | 35 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 0 | 0 |
| 無形固定資産合計 | 0 | 0 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 76 | 68 |
| 従業員に対する長期貸付金 | 77 | 83 |
| 繰延税金資産 | 644 | 549 |
| その他 | 182 | 148 |
| 貸倒引当金 | — | △75 |
| 投資その他の資産合計 | 981 | 774 |
| 固定資産合計 | 1,019 | 809 |
| 資産合計 | 13,395 | 14,532 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,518 | 1,408 |
| リース債務 | 1 | 1 |
| 未払金 | 706 | 650 |
| 未払法人税等 | 0 | 269 |
| 前受金 | 1,476 | 1,595 |
| 賞与引当金 | 113 | 72 |
| 株式報酬引当金 | 77 | 77 |
| その他 | 67 | 82 |
| 流動負債合計 | 3,962 | 4,158 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 1 | 0 |
| 固定負債合計 | 1 | 0 |
| 負債合計 | 3,964 | 4,158 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 414 | 414 |
| 資本剰余金 | 820 | 484 |
| 利益剰余金 | 9,738 | 9,862 |
| 自己株式 | △1,681 | △622 |
| 株主資本合計 | 9,292 | 10,139 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3 | 6 |
| 為替換算調整勘定 | 62 | 123 |
| その他の包括利益累計額合計 | 66 | 129 |
| 新株予約権 | 33 | 32 |
| 非支配株主持分 | 39 | 71 |
| 純資産合計 | 9,431 | 10,373 |
| 負債純資産合計 | 13,395 | 14,532 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|---|--|--|
| 売上高 | 18,626 | 17,175 |
| 売上原価 | 9,869 | 8,917 |
| 売上総利益 | 8,756 | 8,257 |
| 販売費及び一般管理費 | 8,331 | 8,002 |
| 営業利益 | 425 | 255 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 18 | 46 |
| 退会者未使用課金収益 | 2 | 2 |
| 為替差益 | 94 | 317 |
| その他 | 2 | 1 |
| 営業外収益合計 | 117 | 368 |
| 営業外費用 | | |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 71 |
| 投資事業組合運用損 | 5 | 5 |
| その他 | 0 | 2 |
| 営業外費用合計 | 5 | 79 |
| 経常利益 | 537 | 544 |
| 税金等調整前当期純利益 | 537 | 544 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 7 | 261 |
| 法人税等調整額 | △127 | 93 |
| 法人税等合計 | △120 | 354 |
| 当期純利益 | 658 | 189 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△) | 0 | △28 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 657 | 217 |

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 658 | 189 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1 | 2 |
| 為替換算調整勘定 | 39 | 60 |
| その他の包括利益合計 | 40 | 63 |
| 包括利益 | 698 | 253 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 698 | 281 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 0 | △28 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|----------------------|------|-------|-------|--------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 414 | 885 | 9,173 | △1,795 | 8,677 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △93 | | △93 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 657 | | 657 |
| 非支配株主との取引に係る親会社の持分変動 | | △60 | | | △60 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 自己株式の処分 | | △3 | | 113 | 110 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | △64 | 564 | 113 | 614 |
| 当期末残高 | 414 | 820 | 9,738 | △1,681 | 9,292 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 新株予約権 | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|----------------------|--------------|----------|---------------|-------|---------|-------|
| | その他有価証券評価差額金 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | 2 | 23 | 26 | 28 | 39 | 8,771 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △93 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | 657 |
| 非支配株主との取引に係る親会社の持分変動 | | | | | | △60 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △0 |
| 自己株式の処分 | | | | | | 110 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 1 | 39 | 40 | 5 | 0 | 45 |
| 当期変動額合計 | 1 | 39 | 40 | 5 | 0 | 659 |
| 当期末残高 | 3 | 62 | 66 | 33 | 39 | 9,431 |

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|----------------------|------|-------|-------|--------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 414 | 820 | 9,738 | △1,681 | 9,292 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △93 | | △93 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 217 | | 217 |
| 非支配株主との取引に係る親会社の持分変動 | | | | | |
| 自己株式の取得 | | | | △235 | △235 |
| 自己株式の処分 | | △336 | | 1,295 | 959 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | △336 | 124 | 1,059 | 847 |
| 当期末残高 | 414 | 484 | 9,862 | △622 | 10,139 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 新株予約権 | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|----------------------|------------------|--------------|-------------------|-------|---------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算調整勘 定 | その他の包括利 益累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | 3 | 62 | 66 | 33 | 39 | 9,431 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △93 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | 217 |
| 非支配株主との取引に係る親会社の持分変動 | | | | | | |
| 自己株式の取得 | | | | | | △235 |
| 自己株式の処分 | | | | | | 959 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | 2 | 60 | 63 | △0 | 31 | 94 |
| 当期変動額合計 | 2 | 60 | 63 | △0 | 31 | 941 |
| 当期末残高 | 6 | 123 | 129 | 32 | 71 | 10,373 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|----------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 537 | 544 |
| 減価償却費 | 8 | 8 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △2 | 69 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △2 | △41 |
| 株式報酬引当金の増減額 (△は減少) | 77 | 77 |
| 受取利息及び受取配当金 | △18 | △46 |
| 為替差損益 (△は益) | △73 | △314 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 154 | 119 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △22 | 8 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △1,030 | △110 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | △53 | △58 |
| 前受金の増減額 (△は減少) | 66 | 97 |
| 投資事業組合運用損益 (△は益) | 5 | 5 |
| その他 | 63 | 45 |
| 小計 | △289 | 404 |
| 利息及び配当金の受取額 | 17 | 45 |
| 法人税等の支払額 | △340 | △10 |
| 法人税等の還付額 | — | 251 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △613 | 691 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △1,622 | △1,706 |
| 定期預金の払戻による収入 | 1,621 | 1,666 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 4 | 6 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1 | △4 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 100 | 22 |
| その他 | △0 | △0 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 101 | △16 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △235 |
| 自己株式の処分による収入 | 4 | 852 |
| 配当金の支払額 | △93 | △93 |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | △60 | — |
| リース債務の返済による支出 | △1 | △1 |
| 非支配株主からの払込みによる収入 | — | 60 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △151 | 582 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 68 | 242 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △594 | 1,499 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 9,336 | 8,742 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 8,742 | 10,242 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、電子書籍事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

【関連情報】

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しています。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しています。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しています。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高であって連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しています。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|-------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 1,018円11銭 | 1,039円56銭 |
| 1株当たり当期純利益 | 71円75銭 | 21円96銭 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 71円49銭 | 21円91銭 |

(注) 1 「役員向け株式交付信託」が保有する当社株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めています(前連結会計年度150千株、当連結会計年度110千株)。

また、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています(前連結会計年度165千株、当連結会計年度124千株)。

2 「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」の算定上の基礎は、以下のとおりです。

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|---|--|--|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(百万円) | 657 | 217 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円) | 657 | 217 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 9,169 | 9,921 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円) | — | — |
| 普通株式増加数(千株) | 32 | 21 |
| (うち新株予約権(千株)) | (32) | (21) |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要 | 2021年6月15日取締役会決議によるストック・オプション(新株予約権の数225個(普通株式22,500株))。 | 2021年6月15日取締役会決議によるストック・オプション(新株予約権の数220個(普通株式22,000株))。 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。